

荒井の山王塚について

この塚は、JR高崎線北本駅の西方約2.0km、県道さいたま・鴻巣線の東側に位置し、行政区上は荒井1丁目地区に所在する。約100m南方には「味噌観音」の名で親しまれている荒井の観音堂がある。

塚上には小さな社があり、その中に石刻猿とともに、山王上七社の神像を表現した石塔が奉納され、銘は「武州足立郡石戸領新井村施主 皆とき寛文五 乙巳天十月廿日敬口」とあり、寛文5年(1665)年の奉納であることがわかる。

石塔には、山王上七社の神である大宮・二宮・聖真子・八王子・各人・十禪師・三宮の図像が陽刻で示されている。

この山王塚は、地元では「サンノウヤマ」と呼ばれ、近年、社を修繕し、減った塚を盛土して整備しているということである。



写真1 山王塚全景（南西から）



写真2 社全景（南から）



写真3 石塔の銘文と山王上七社